

## 4-2. R-VAN (リアルタイム家電VAN)

### (1) 背景

家電業界では1988年にE-VANを構築し、流通企業とメーカーとの間で本格的なEDIを開始しました。大手量販店を中心に高密度な運用がなされています。また、統一伝票(E様式)は、流通企業の取り扱い品目が家電以外に広がってきており、業種・業界を超えて浸透しています。

このような中で、市場環境の変化や消費者ニーズの多様化にともなう購買パターンの変化、流通企業の多様化などで、既存のEDIシステムだけでは取引のニーズに合わないことが多くなってきました。

具体的には、店頭からリアルタイムにメーカーの在庫を検索したり、注文したりして、結果がすぐわかるEDIシステムが要望されていました。

### (2) 経過

メーカー側にとっても受注後の欠品情報や納期回答データをバッチ返送するのは工数がかかる作業でなかなか実現できずにいました。

1989年から、いかにすればこのような要望に応えられるかの検討を開始しましたが、多数の異機種コンピュータ間によるリアルタイム接続を可能にしなければならず、また利用者のオペレーションを考えると、運用時間やメッセージなど詳細な仕様の統一も必要であり、実現に向けては大変な苦勞を伴うことになりました。

開発に先立ち、以下のような前提条件に基づき、家電メーカー共同で「R-VAN (リアルタイム家電VAN)」のガイドラインを、(財)家電製品協会のもとで1990年7月に取り纏めました。

#### [リアルタイムEDIの機能]

- ①発注・在庫照会がリアルタイム(会話形式)に出来る。
- ②納品可能日・配達便などを回答する。
- ③早朝から夜間まで発注処理が可能。
- ④メーカーが休日でも発注・照会が可能。
- ⑤14日先迄の納品日指定を基本とする。

#### [その他]

- ①流通企業の店頭での利用を基本とする。
- ②在庫を公開しないモデルが発生することもある。
- ③VAN料金については、発注はメーカー負担、照会は流通企業の負担とする。
- ④システム面や費用負担の関係で加入できないメーカーが想定されるため、メーカーの加入は任意とする。

こうして、1991年に運用を開始しましたが、当初は各社の方針の違いにより、2つのVAN会社((株)NTTデータ・日本IBM(株))に接続する形でスタートしました。1995年日本電気大型店協会(NEBA)より、相互乗入れ実現に向けての強い要請を受け

技術・運用面での課題解決に向けて検討を開始し、1996年8月に両VANにゲートウェイを介して相互接続することにより、加入全メーカーに接続できる環境が実現しました。

その後、運用時間の延長、繁忙期の運用休止日削減等のサービス性向上により、利用率向上に大きく貢献しています。

<利用状況>

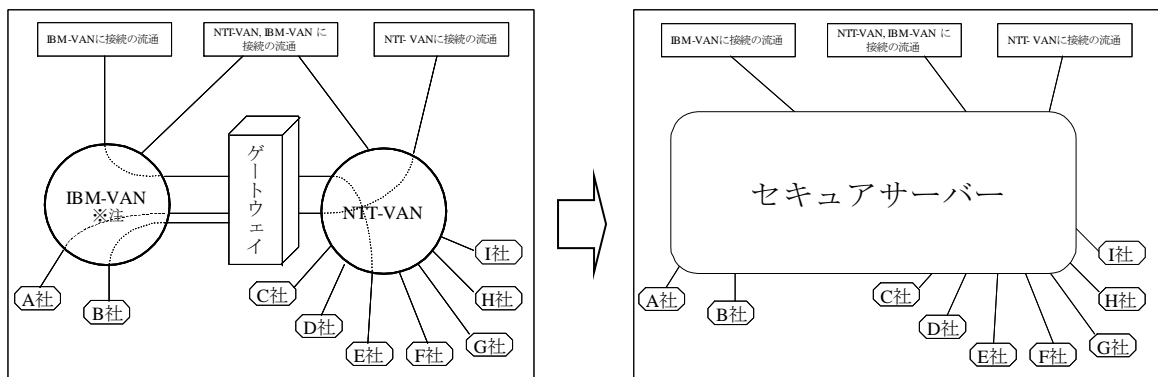
利用企業数 流通企業5社・メーカー6社 (2019年3月時点)

利用件数 照会278万件、発注60万件 (2017年年間実績)

また、更なるレスポンスの向上を目指し、2004年4月にセキュアサーバーを構築し、ゲートウェイを廃止することを計画しています。

(3)概要

①概念図



IBM-VAN・NTT-VAN間はゲートウェイを経由し相互に接続 ※注 現在はAT&Tに事業移管されています。

レスポンスの向上を目指しセキュアサーバーの構築とゲートウェイを廃止 (2004年4月予定)

②機能

- a. 発注型在庫照会…………… 発注したいモデルを入力し、メーカー在庫を確認後に発注する。在庫がない場合、納品可能日が回答される。
- b. 発注…………… 会話形式で発注でき、結果がリアルタイムに確認できる。
- c. 在庫照会…………… 在庫の照会のみ。在庫がない場合、納品可能日の回答が返るのは、a. に同じ。
- d. 最終データ確認照会… 回線障害等で入力した発注が、どこまで処理されているか確認できるよう、メーカー側に流通企業毎に最終処理したデータを保持しており、万一のときそれを参照する。

③未商談品 (定番外) の扱い

基本的には商談済み商品のみ受付ける。受注の可能性がある商品についてはあらかじめ商談を済ませておくこと。

④運用日・時間

a. 運用日

下記の休止日を除く。

年始の休止日	1月1、2日は、システムのメンテナンス等により休止とする。
その他の休止日	メーカー個別で加入流通企業に案内する。

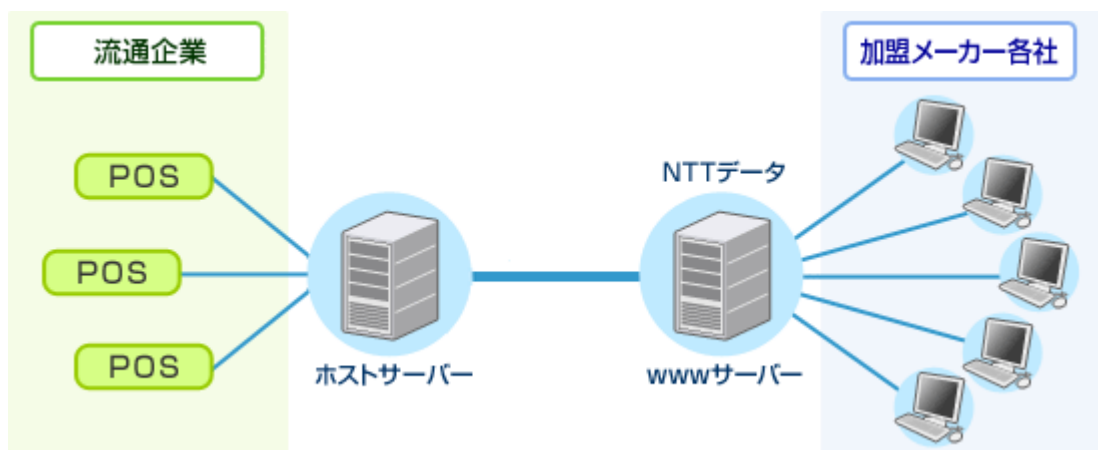
b. 運用時間

開始時間	終了時間
8 : 0 0	2 1 : 0 0

⑤費用負担

	費用項目	流通企業	メーカー
初期	流通企業側開発費用	○	
ラン	流通企業側情報処理費・機器費用	○	
	VAN回線料 (流通企業→VAN 会社)	○	
ニ	VAN回線料 (VAN 会社→メーカー)		○
	メーカー側情報処理費・機器費用		○
グ	VAN処理料 (在庫照会)	○	
	VAN処理料 (発注)		○

⑥接続形態



2002年6月より、インターネット上の指定サイトに接続し、R-VANとほぼ同等の機能が実現できる「R-Web（家電Web受発注システム）」を構築し運用を開始しました。

今後は、これまでR-VANを導入していなかった地域量販店などで、R-Webの推進を図っていくとともに、ホストコンピュータから発注を行う流通企業については、従来通りR-VANを、更に手軽に、かつ安価に利用出来る環境を整備し、より多くの流通企業・メーカーの参加を促進して行きたいと考えています。

標準化内容につきましては、『第3章 R-VAN標準化内容』を参照ください。

尚、詳細につきましては、TC-NET協議会事務局までお問い合わせください。

R-VANシステムのお問合せ先

TC-NET協議会事務局

〒135-8671

住所：東京都江東区豊洲3-3-9 豊洲センタービルアネックス32F

(株)NTTデータ内

TEL：050-3521-8434 FAX：050-3737-1242